

千葉市こども未来局と連携して幼保小連携・接続の強化を図ります  
～「幼保小接続カリキュラムコーディネーター」に関する覚書を締結～

千葉市こども未来局と国立大学法人千葉大学教育学部は、千葉市における幼児教育と小学校教育の接続の強化を図るため、「幼保小接続カリキュラムコーディネーター」に関する覚書を締結しましたので、お知らせいたします。

## 1 趣旨

千葉市は、幼児教育と小学校教育とのつながりを強化するとともに、全市的な幼児教育の質の向上を図るため、「幼児教育の推進体制構築事業」を展開しています。

本学部の幼児教育に関する知見・人的資源を活用し、この取組をより効果的に推進するため、千葉市こども未来局と連携して取り組むこととしました。

## 2 連携内容

本学部の教職員の中から「幼保小接続カリキュラムコーディネーター」を選任し、千葉市が指定するモデル実施園におけるアプローチカリキュラムの作成、実践及び検証に係る以下の取り組みに関して、専門的見地による必要な助言などの支援を提供します。

※「アプローチカリキュラム」とは、幼児期における発達や学びを小学校での生活や学習に円滑に接続するために、幼児期の教育・保育が終了する前の接続期（概ね年長児の後半）に、幼稚園・保育所・認定こども園で実施するカリキュラムです。

### （1）個別支援（年数回予定）

モデル実施園がアプローチカリキュラムの作成・実践等を行うにあたり、コーディネーターが個別に各園を訪問し支援を行う。

### （2）合同勉強会（年 3 回：第 1 回は平成 29 年 6 月予定）

各園が効果的に取組みを推進するため、モデル実施園合同の勉強会を開催し、意見・情報を交換し方向性を共有する。

### （3）公開研修会（年 1 回：平成 30 年 2 月頃開催予定）

各園が実践した取組みを近隣の園や小学校に公開し、教職員によるディスカッションなど、取組みの振り返りや参加者の動機づけとなるよう公開研修会を開催する。

## 3 覚書による成果

モデル実施園における取組みの成果を検証して、千葉市内の幼稚園・保育所・認定こども園におけるカリキュラム作成の一助となる千葉市独自の「モデルカリキュラム」の作成・周知を図り、すべての児童が小学校接続を意識した質の高い幼児教育が受けられる状態を目指します。

【問合せ先】  
千葉大学教育学部総務係  
TEL：043-290-2505  
Mail：hag2505@office.chiba-u.jp